

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2019-220221 (P2019-220221A)
【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)
【年通号数】公開・登録公報 2019-052
【出願番号】特願 2019-168568 (P2019-168568)
【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 25 日 (2019.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の端末装置と通信可能に接続され、一の端末装置から受信したメッセージを他の端末装置に送信する情報処理システムであって、

前記一の端末装置から受信したメッセージのスペルチェックを実行するチェック手段と、

前記チェック手段によりスペルミスが発見された場合に、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記他の端末装置に送信する送信手段と、
を備える情報処理システム。

【請求項 2】

前記送信手段はさらに、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記一の端末装置に送信する、請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

前記メッセージはチャットのメッセージである、請求項 1 または 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

複数の端末装置と通信可能に接続され、一の端末装置から受信したメッセージを他の端末装置に送信する情報処理システムが実行する情報処理方法であって、

前記一の端末装置から受信したメッセージのスペルチェックを実行するチェックステップと、

前記チェックステップによりスペルミスが発見された場合に、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記他の端末装置に送信する送信ステップと、
を実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 5】

前記送信ステップはさらに、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記一の端末装置に送信することを特徴とする、請求項 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 6】

前記メッセージはチャットのメッセージであることを特徴とする、請求項 4 または 5 に記載の情報処理方法。

【請求項 7】

情報処理装置を介して他の端末装置とメッセージを送受信する端末装置に、
メッセージを前記情報処理装置に送信する送信処理と、
前記メッセージにスペルミスが含まれていた場合に、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記情報処理装置から受信する受信処理と、
受信した前記メッセージを表示装置に表示させる表示処理と、を実行させ、
前記スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージは、スペルミスが修正される前のスペルと修正された後のスペルとの対応がユーザに認識可能な態様で表示される、コンピュータプログラム。

【請求項 8】

前記スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージが、前記情報処理装置から送信されたものであることが分かる態様で表示する、請求項 7 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 9】

情報処理装置を介して他の端末装置とメッセージを送受信する端末装置であって、
メッセージを前記情報処理装置に送信する送信手段と、
前記メッセージにスペルミスが含まれていた場合に、スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージを前記情報処理装置から受信する受信手段と、
受信した前記メッセージを表示装置に表示させる表示手段と、を備え、
前記スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージは、スペルミスが修正される前のスペルと修正された後のスペルとの対応がユーザに認識可能な態様で表示される、端末装置。

【請求項 10】

前記スペルミスが修正されたスペルを含むメッセージが、前記情報処理装置から送信されたものであることが分かる態様で表示する、請求項 9 に記載の端末装置。

【請求項 11】

複数の端末装置と通信可能に接続される情報処理システムであって、
一の端末装置からメッセージを受信する受信手段と、
前記一の端末装置から受信したメッセージのスペルチェックを実行し、スペルミスが発見された場合に、スペルミスを修正する修正手段と、
前記修正手段により修正されたスペルに基づく情報を他の端末装置に送信する送信手段と、
を備える情報処理システム。